

賀恵渕集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、実質化した人・農地プランが作成された。その結果に基づき、人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

令和3年3月31日

君津市長 石井宏子

記

1 会合の対象とした区域

賀恵渕集落

2 会合の結果を取りまとめた年月日

令和3年3月4日

3 今後の地域の中心となる経営体の状況

・経営体数

法人	5 経営体
個人	23 経営体
集落営農	1 組織

※ 4 集落（山本、西原1、西原2、賀恵渕）共通の中心経営体

4 今後の地域農業のあり方

農業経営の安定と農村環境保全のため、中心経営体への農地集積・集約化を目指し、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。5年後以降の営農を見据え、中心経営体の新規育成や若返りを目的とした集積・集約化を進める。

小櫃地区の特産である施設園芸作物（きゅうり、イチゴ、レタス、インゲン）及び水稻種子生産については、君津市農業協同組合との連携を図り、振興する。